

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

| | |
|---------|---|
| 地区名 | 東北地区（主担当大学：東北大学） |
| 事業名 | 伝わる・揺さぶる！文章を書く～一生ものの「表現力」を身につける～ |
| 事業目的・趣旨 | <p>普段の業務で「書く」機会は意外と多いですが、自分の考えをしっかりと「言葉」で伝えるのは案外難しいものです。メール、依頼文書、SNS、そして謝罪文書など、正しく伝わらなければ、「クレーム」に発展してしまう場合もあります。</p> <p>このワークショップでは、相手に伝わる文章を「書く」ために必要な「考え方」を理解し、同時に相手に伝わる文章を「書く」技術を習得します。さらには、「書く」ための「考え方」を学ぶ過程で、状況に応じた対応力(コミュニケーション力)の向上も目指します。どんな職種にもかかせない「書く技術」についての基本を身につけることで日常業務を円滑に行えるようにすることも目的とします。</p> |
| 実施内容 | <p>開催日時：平成 29 年 2 月 17 日（金） 13:00～17:15</p> <p>開催場所：東北大学附属図書館本館 2 階大会議室</p> <p>参加者：46 名（主催者も含む）</p> <p>プログラム：</p> <p>12:30 - 13:00 受付</p> <p>13:00 - 13:05 開会</p> <p>13:05 - 17:05 講演 および ワorkshop型実習(適宜休憩あり)</p> <p>「想いを相手に響くよう」 通じさせる！表現力育成ワークショップ</p> <p>講師：山田ズーニー 氏</p> <p>17:05 - 17:15 閉会</p> <p>17:15 - 17:45 開催館見学 任意参加</p> <p>17:45 - 19:45 情報交換会 任意参加</p> <p>文章表現・コミュニケーションインストラクターの山田ズーニー氏を講師としてお迎えし、講演およびワークショップ型の実習を行った。</p> <p>講演では、相手に伝わる文章を「書く」ために必要な7つの要件について、具体的な事例（手紙やメール文面）を挙げながらお話いただいた。</p> <p>ワークショップでは、各参加者が想いを伝えたい身近な相手をひとり決め、まずはペアワークで、相手に関する質問にこたえながら、自分が相手に対して気づいていなかった想いを探った。また、グループワークで、その気づきを発表し合い、言葉に出すことで整理をした。</p> <p>その後、相手の過去・現在・未来の洗い出しを行い、理解をさらに深めた上で再びペアワークを行い、今度は自らが想いを伝えたい相手役となり、自分役のペアに語りかけることで客観的に自分自身を見つめ直した。</p> <p>最後に、各ワークを通して得た気づきと相手に対する想いを、簡潔な文章にまとめ、当日の成果として全員の前で発表を行った。</p> |

| | |
|---|--|
| | <p>比較的近い人物を相手に想定して一連の実習を行うことにより、思考法の基礎を身につけることができ、職場でのコミュニケーションや、文章で思いを伝える際に応用できるような内容となった。</p> |
| <p>事業の成果 (アンケート調査結果、事業への意見・感想等)</p> | <p>今年度は、講義型と体感型を組み合わせたワークショップを行ったが、アンケート結果(有効回答数 39 件)を見ると、内容について「有意義だった 85%」「思った内容と違った 10%」「どちらともいえない 5%」と概ね好評であった。</p> <p>自由記述による意見・感想では、ワークショップ内容について肯定的な感想が多く、満足度の高さが伺える。さらに、気づきや参考になった点についてそれぞれの言葉で丁寧に記述されており、アンケート記入にも研修の成果が現れていた。研修内容を「活かしたい」などの意見も多数見られ、当日限りではない、今後につながる研修となった。</p> <p><u><自由記述回答一部></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務にストレートに結び付けない、珍しい企画だったと思いますが貴重な経験をさせていただきありがとうございました。日々の「ものの考え方」「コミュニケーション」に役立つと思います。 ・「言葉」は想いを伝えるための方法ということを気づかされました。日々の文章に想いをどれだけのせられるのかは、7つの重要キーワードをもう一度ふりかえって努めていきたいと感じました。 ・書き始める以前の段階がテーマ！正に『一生ものの「表現力」』でした！文言のテクニック中心のマニュアル本とは別次元でよかったです！ ・実際に自分が思っていることを具体的にしていく作業によって、自分でも気付いていなかったことに気付かされた驚きがありました。 <p>一方、「告知段階での詳細な内容、当日の具体的なタイムテーブルを示してほしい」「休憩時間が不十分だった」などの指摘があった。また 13 時開始では昼食・移動の時間がとりにくい参加者がいることが分かり、広報・タイムスケジュールとともに課題のひとつである。</p> <p>今後の希望については、「文章力についてさらに学びたい」「今回の講師の別プログラムを受けたい」という意見の他、以下のテーマが挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション(ファシリテーション、利用者対応、話すこと) ・自己啓発(ストレスマネジメント、セルフコントロール、タイムマネジメント) ・図書館関連(IR と図書館、避難訓練・避難行動、図書館刊行物・パスファインダー、古典籍・漢籍、多言語での情報検索実習) |
| <p>経費</p> | <p>支出総額：168,807 円</p> <p>【内訳】</p> <p>講師謝礼・交通費：142,360 円</p> <p>その他(会議費・事務費等)：26,447 円</p> |